

 EG-Keeper

 EG-Plus2

定期ログ保存ツール  
ユーザーマニュアル



# 目次

編集履歴.....	1
目次.....	2
1. 概要.....	3
1.1. 処理イメージ.....	3
2. データ定期取得ツールの実行.....	4
2.1. エクスプローラーから実行する方法.....	4
2.2. コマンドプロンプトから実行する方法.....	5
2.3. メッセージ表示欄の説明.....	6
3. 保存データの説明.....	7
3.1. EG-Keeperの保存データ.....	7
3.2. EG-Plus2の保存データ.....	8
3.3. 保存データの連続性.....	8

## 1. 概要

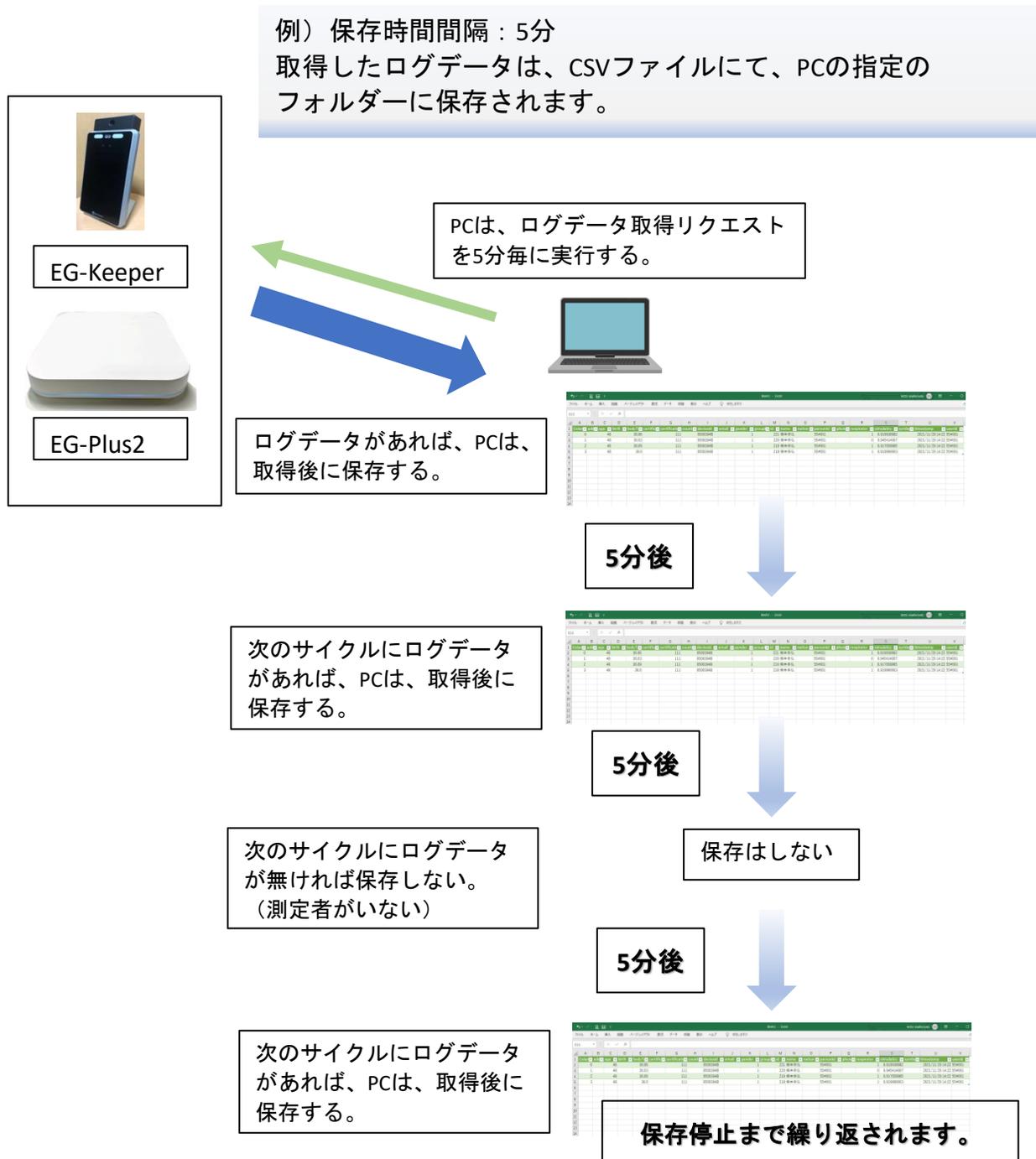
本書では、EG-Keeper及びEG-Plus2から定期的にログデータを取得し、PCに保存するソフトウェアについて説明します。

本ソフトウェアは、Windows PC（パソコン）上でのみ実行できます。

また、PCとEG-Keeper及びEG-Plus2とのネットワーク接続については、別途、それぞれのマニュアルをご覧ください。

バージョン	プログラム名
1.0	eg-logtool_ver1.0.exe

### 1.1. 処理イメージ



## 2. データ定期取得ツールの実行

データ定期取得ツールは、Windows PCのみで実行できるソフトウェアです。

実行ファイル名：eg\_logtool\_ver1.0.exe

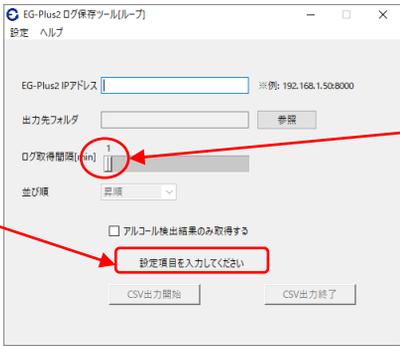
実行方法には、2通りあり、

- 1) エクスプローラーから直接実行する。
- 2) コマンドプロンプトから引数を付けて実行する。

の、どちらかで実行します。

### 2.1. エクスプローラーから実行する方法

- 手順1 eg\_logtool\_ver1.exeを任意のフォルダーにコピーする。
- 手順2 eg\_logtool\_ver1.exeをダブルクリックし直接実行する。
- 手順3 以下のEG-Plus2 ログ保存ツールのウインドウが起動する。



メッセージ表示欄

<ログ取得間隔>  
ボタンのマウスにてドラッグしてスライドさせることで、時間を変更する。  
ボタンの上の数字が、時間(分)を示す。(初期値:1分)

手順4 各項目を設定する。

- ・ EG-KeeperまたはEG-Plus2のIPアドレスとポート番号  
EG-Keeperのポート番号は、8080固定  
EG-Plus2のポート番号は、8000固定
- ・ 出力先のフォルダー名 (参照ボタンでエクスプローラーを起動し、フォルダーを選択)
- ・ ログ取得間隔 (初期値：1分、分単位で60分まで選択可能)
- ・ 並び順 (ログのtimestampの時刻順)  
降順：ファイルの先頭が、一番時刻が新しい  
昇順：ファイルの先頭が、一番時刻が古い
- ・ アルコール検出結果のみを取得 (すべて取得時は、チェックを入れない)  
**注. EG-Plus2のみ有効であり、EG-Keeperの時はチェックを入れない事。**

手順5 すべての項目が設定されるとCSV出力開始ボタンが有効となります。

手順6 任意のタイミングでCSV出力開始ボタンをクリックして、開始してください。

CSV出力終了ボタンが有効となり、終了ボタンをクリックするまで、CSV保存を繰り返します。

**注. 各項目設定は保存されませんので、不便を感じられる時は、次章のコマンドプロンプトから実行する方法をご利用ください。**

## 2.2. コマンドプロンプトから引数を付けて実行する方法

- 手順1 例として、C:¥csvのフォルダーを作成し、eg-logtool\_ver1.0.exeをコピーする。  
**注. フォルダーは、Cドライブ直下で、アルファベット小文字で作成すること。**
- 手順2 コマンドプロンプトを起動します。
- 手順3 コマンドプロンプトのフォルダー位置をC:¥csvに移動します。
- 手順4 コマンドラインに、例として以下の実行ファイルと引数を入力し、Enterを押下します。  
 引数間は、スペース1個を挿入してください。  
 C:¥csv>egkeeper\_log\_ver5.exe command 192.168.1.50:8000 c:/csv/ 3 desc all

- <引数例：説明 **注. Command入力した時、それ以降の引数は必須で、省かないこと**>
- |                         |  |
|-------------------------|--|
| (1) {command}           | コマンドライン実行  |
| (2) {192.168.1.50:8000} | EG-Plus2 IPアドレス：ポート番号<br>EG-Keeperのポート番号は、8080固定<br>EG-Plus2のポート番号は、8000固定 |
| (3) {c:/csv/}           | ログ保存場所   |
| (4) {3}                 | 取得間隔(min) 例：3分   |
| (5) {desc}              | 並び順 ( desc=降順, asc=昇順)   |
| (6) {all}               | 保存対象 (all=すべてのデータ,<br>alcohol=アルコール値が入っているデータだけ)                           |

**注. 引数をすべて無しで実行すると、エクスプローラーから直接実行する場合と同じ動作になります。**

- 手順5 以下のEG-Plus2 ログ保存ツールが実行状態でウインドウが起動します。  
 手順4で指定した引数が、適応された状態で、実行されています。

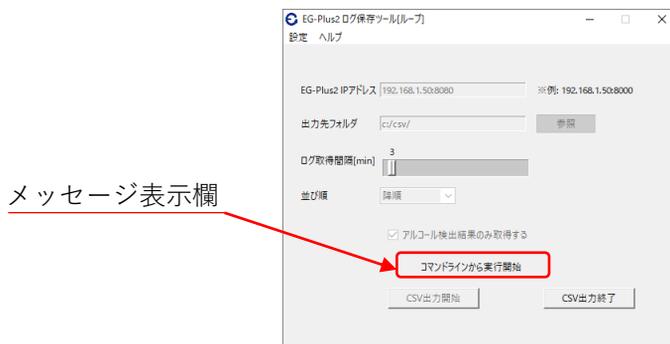


- 手順6 CSV出力終了ボタンをクリックするまで、CSV保存を繰り返します。

CSV出力終了すると、各項目は編集可能となりますが、変更内容は保存できません。

## 2.3. メッセージ表示欄の説明

下図の赤枠内は、動作状況を示すメッセージを表示します。



状況に応じて、以下のメッセージが表示されます。

### <起動時>

- 引数無で実行時 → “設定項目を入力してください”
- 引数有で実行時 → “コマンドラインから実行開始”

### <ネットワーク接続エラー時> (IPアドレス：192.168.1.50:8000設定時)

“192.168.1.50:8000指定IPにはネットワークエラー (timeout) が発生しました”

### <ログ出力有の時> (60分間隔設定時の例)

“2023-01-24 17:57:41～ 2023-01-24 18:57:41のログを保存しました”

### <ログ出力無の時> (60分間隔設定時の例)

“2023-01-24 17:57:41～ 2023-01-24 18:57:41のログが無かったため、保存していません”

### 3. 保存データの説明

取得データは、CSV形式で保存されますが、EG-KeeperとEG-Plus2とでは、保存される項目が異なります。

#### 3.1. EG-Keeperの保存データ

下図は、例として、5分間隔に設定された場合の1回分のサンプルデータを示します。  
並び順は、昇順設定です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1		address	age	birth	bodyTemp	certificate	certificate	country	deviceid	email	gender	groupid	id	name	nation	personId	phone	respirator	simulativity	symbolData	timestamp	userid
2	0	荒川区西E	33		36.48	1234567A	111		5005617	miyoshi@	0		891	ミヨシ	WDS05	3.68E+08	0	0.954845			2023/1/25 16:21	WDS05
3	1	荒川区西E	51		36.7		111		5005617		1		892	KOURAKU	WDS20	3.68E+08	0	0.876043			2023/1/25 16:23	WDS20
4																						

各項目の説明は、以下の通りです。各データは、シフトJISコードで保存されます。

- 列A：項目名無 CSVファイル内の連番
- 列B：address 住所
- 列C：age 年齢
- 列D：birth データ無
- 列E：bodyTemperature 検温結果
- 列F：certificateNumber 証明書番号
- 列G：certificateType 証明書の種類（111：身分証 固定）
- 列H：country データ無
- 列I：deviceid デバイスシリアル番号
- 列J：email メールアドレス
- 列K：gender 性別
- 列L：groupId データ無
- 列M：id 取得したデータ毎に振られる固有の連番。分割したCSVファイル内のデータを連結する際の基準として使用する
- 列N：name 名前
- 列O：nation データ無
- 列P：personId ユーザーID
- 列Q：phone 電話
- 列R：respirator マスク
- 列S：simulativity 類似度
- 列T：symbolData データ無
- 列U：timestamp 取得日付
- 列V：userid ユーザーID（personIdと同じ値）

保存ファイル名は、例として以下となります。

192\_168\_1\_100\_8080\_20230125\_162526\_csvoutput.csv

IPアドレス：ポート番号

年月日時刻

